木村泰男議会報告

第　１７　号

平成２１年９月９日発行

ゆめくる
夢来（ドリカム）甲賀

敦煌にて（H17）

CHENGE！変革の時です！

国政の転換点となった衆議院選挙が終了し、国の在り方が今大きく変わろうとしています。民主党政権はどんな日本を創りあげてくれるのでしょうか。閉塞状態にある国政に風穴を開けてくれることを大いに期待したいものです。

さて、次は甲賀市議選のスタートです。甲賀市が誕生して五年、市民の皆さんの期待に議会と議員は答えてきたのでしょうか。

厳しい財政難と地方分権の推進のなか、市行政と市議会には大きな責務が課せられています。国政が大転換したように、市政も大きな転換が必要です。中嶋市政の二期目がスタートした今、市政の転換は、今回の市議選に託されているとも言えます。

木村泰男は、現在、会派に所属せず独りでの議会活動を行っています。政党や会派という多数の勢いに潰されることなく、市民の目線と立場を基本に是々非々を貫き行動しています。

変革　甲賀市政！

続けました！

「継続は力なり」と申します。何でも続けることによってしか向上し達成できません。木村泰男は何を続けたのでしょうか。

本会議の一般質問

毎回行った一般質問。議員が市政を正す最大の場です。「どうなってるの？」という市民の目線を大切にした質問に心がけました。

行政への要望

個人的な要望や地域の要望は、写真を添付した要望書を作成して行政に届け解答を求めました。

行政へは監視と支援

議員の最大の任務は行政の監視的役割です。近づきすぎると馴れ合いになり、対決姿勢ばかりでは何も生まれません。厳しい行政運営を強いられている現在、しっかりとした目線で臨みました。

議会のあるべき姿を追求

二七名となる市議会。旧来の町議会の延長から一〇万都市の市議会へと脱皮しなければなりません。一年生議員ですが、口幅ったい事も言い続けてきました。成熟した議会に向けた議会基本条例の制定などの取り組みが必要です。

「夢来甲賀」の発行

議会だより「夢来甲賀」を発行し続けました。しかし、後半の二年間は発行の間隔が空いてしまいました。学生に戻った為だと思われます。お許し下さい。

学生に戻りました

議員活動に活かすべく、五八才から放送大学大学院に入学し「地方自治」の勉強を始めました。教科単位は全て取得しましたが、修士論文は勉強不足で不合格でした。四月より休学、いずれ再チャレンジします。

勉強に年齢は無関係、学びたい事を学びたい時に学習するのが一番です。放送大学にはいろんな講座や学び方があります、ご連絡ください！

事務所本格始動！

五月より甲南駅前近くに事務所を構えました。開店休業状態でしたが、九月より本格始動します。

こんなブログのホームページを立ち上げてます！

インターネットで「木村泰男」と入力し検索してください。左のホームが現れます。いろんなメニューがあります！

メニュー

・ホーム ・プロフィール ・マニフェスト	・議会報告 ・議会だより「夢来甲賀」 ・掲示板「大きなつぶやき」

※ それぞれにコメントもできます。ご意見をお寄せ下さい。

九月議会は決算議会

九月議会は「決算議会」と呼ばれ、前年度の会計決算について、決算特別委員会を四日間開催し細かく審査します。昨秋以降の経済危機の影響が歳入に色濃く現れ、一層厳しさを増しています。

ほんとうに厳しい財政状況

七月の臨時議会後の全員協議会において、財政課から「**今後三年間は毎年十億円ずつ財源が不足する**」という愕然とする説明がありました。市の預金である「基金」も底を尽きかけています。もちろん今以上に市債（借金）を積み重ねるわけにもいきません

このため、**補助金の一層の削減や公共施設の見直し**が行われます。これには市民の理解と協力が不可欠であり、現在区長さんへの説明がなされているところです。かつてのような、何でも言えばしてもらえる時代は終わりました。今一度、**「自分たちの事は自分たちで！」**という原則に立ち返る必要があります。

なぜこうなったの？

三位一体改革による交付税の減額と経済不況による市税収入の落ち込みが主要因です。さらに合併前後の大規模事業の起債償還、社会保障関係経費の増大、上下水道や病院会計等への操出金増加が財政運営を圧迫しています。

最終の一般質問

9月7日午前、「甲賀市の3地形と将来への展望」と題した一期四年間の総括的な一般質問を行いました。

山地地形では甲賀の林業に関わって造林公社問題と森林保全の在り方、信楽の観光開発。無従谷の里山からは甲南甲賀に広がる甲賀丘陵の開発の方向性と苦労だらけの中山間地農業の今後。野洲川と杣川の河谷平野からは国道1号線のバイパス整備と甲南駅舎とその周辺整備について3度目の質問を行いました。紙面の都合で概要は市議会発行の「議会だより」、具体的内容は私のホームページを参照ください。

総じて言えることは、残念ながらどの課題についても、将来への展望に明るいものはありませんでした。国政・県政においても、明るい展望を見出すことが難しい時代ですから、市政として同じ状況は理解できますが、一方で、こんな時だからこそ、「選択と集中」によって、ひと味もふた味も違う甲賀市を創造したいものです。

おねがいとお詫び

「行政」や「教育」に関わるご意見・要望をお寄せ下さい。本紙は手作りです。見苦しいところはお許し下さい！

電話・FAX 六九-七五九七
HP yumekurukoka.weblogs.jp/
ML yumekurukimura@yahoo.co.jp